

# 農業研修が新入社員に与える心理的な影響

— 西部電気工業(株)の2024年度新入社員研修の事例 —

主任研究員 尾中謙治

## 1 対象者と調査の概要

調査対象者は、西部電気工業株式会社の新入社員のうち農業研修を受けた11名であった。西部電気工業(株)では、2023年から新入社員研修の一環として農業研修を導入しており、24年度は2回目の農業研修の実施であった(注)。

農業研修は、2024年4月18日(木)、19日(金)、22日(月)の3日間実施された。18日は11名が3チームに分かれて、各受入農家の圃場で8時30分～17時まで農作業(第1表)、19日は9時～12時まで2チームに分かれて、7名がJAの園芸流通センターで野菜の荷下ろし作業・段ボールの結束、4名がパックセンターでネギとサニーレタスのパック詰めを行った。20日(土)の森林ボランティア(植林作業)、21日(日)の休日を経て、22日(月)は午前中に18日の3チームで農業研修の内容や気づいたことなどのプレゼン用資料を作成、13時30分

～15時にプレゼンが実施され、農業研修が終了した。

農業研修の心理的な影響を測定するためにあたって、18日の農作業開始前(作業前)と終了時(作業後)、22日の研修終了後(研修後)の3回にわたって日本版POMS<sup>®</sup>2の「成人用 短縮版」、作業前と研修後にTIPI-J(日本語版 Ten Item Personality Inventory)を実施した。統計処理には、Wilcoxonの符号付き順位和検定を用いた。調査にあたっては、文章にて西部電気工業(株)および新入社員に対して趣旨説明を行い、調査票への回答・提出をもって同意とみなした。

## 2 POMS<sup>®</sup>2の結果

POMS<sup>®</sup>2の平均得点の変化を第1図に示した。T得点の50点は平均値を意味しており、T得点が40～59点は平均的なレベルである。

作業前と作業後を比較すると、「疲労」以外のネガティブな気分状態が低下し、ポジティブな気分状態が上昇した(第1図。「TMD」は「ネガティブな気分全般」のこと)。統計的有意差があったのは「緊張(不安)」であった。ポジティブな気分状態は作業前から高かったが、これは農業研修よりも先に実施された集合研修によって新入社員同士の良好な関係が築かれていたことが影響したと考えられる。

作業後と研修後を比較すると、「怒り」以外のネガティブな気分状態とポジティブな気分状態が低下した。統計的有意差があったのは「疲労」と「活気」であった。ポジティブな気分状態が低下したのは、気力・活力が必要な農作業が終了した結果であるが、「友好」は低下したものの、平均より高い状態を維持した。

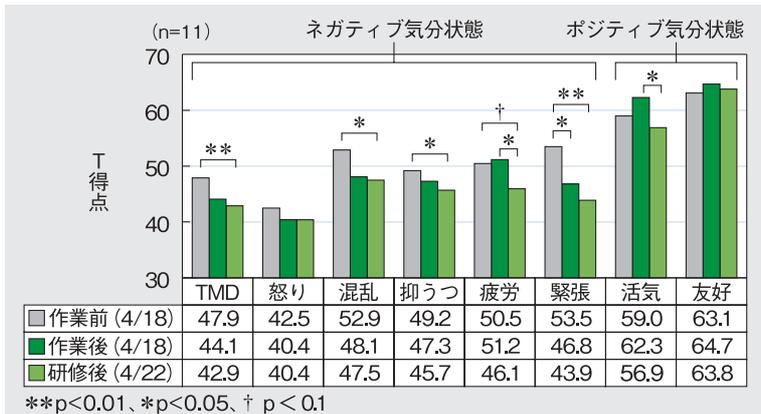
農作業前と研修後を比較する

第1表 農業研修1日目の作業内容

受入農家	作業内容	参加人数
A	ラディッシュの収穫・洗浄・パック詰め、工場見学、ビニールハウスの解体	4名
B	肥料まき、テント張り、除草作業(1名は午前中のみ葉物野菜の袋詰め)	3名
C	ピーツとほうれん草の収穫、収穫後のマルチの片づけ、ケールの袋詰め	4名

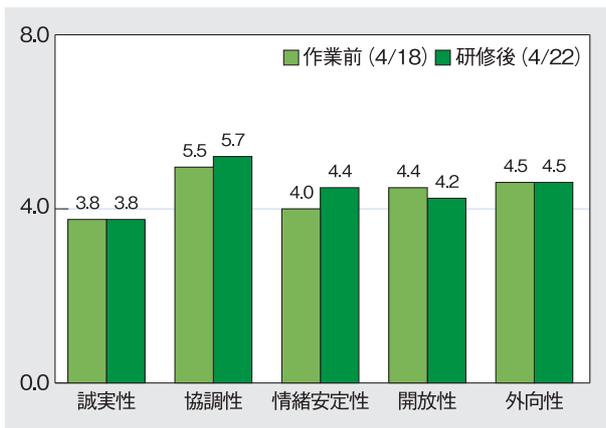
資料 筆者作成

第1図 POMS<sup>®</sup>2の平均得点



資料 筆者作成

第2図 TIPI-Jの平均スコア



資料 筆者作成

と、すべてのネガティブな気分状態と「活気」が低下し、「友好」が上昇した。統計的有意差があったのは「TMD」「混乱」「緊張」であった。

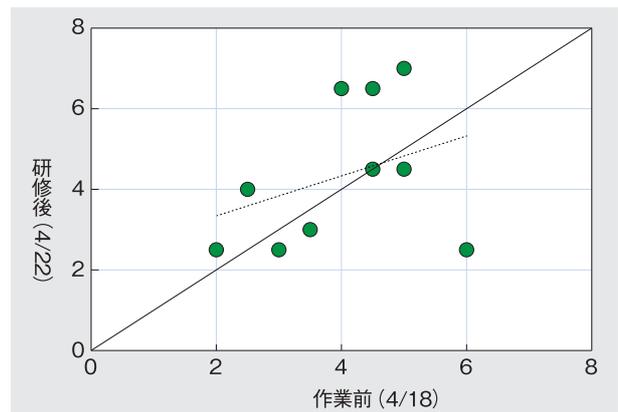
### 3 TIPI-Jの結果

TIPI-Jは、「誠実性(自らを律して行動し目標の遂行に忠実であることの程度)」「協調性(他者を信頼し協調的に振る舞う程度)」「情緒安定性(情動的に安定している程度)」「開放性(新しい考えや人間関係、環境を受け入れる程度)」「外向性(対人的・社会的に活動的であることの程度)」の5つのパーソナリティ特性を測定する質問紙法による検査である。TIPI-Jはパーソナリティ特性を測定するものであり、POMS®2が測定する気分状態のように短期的に変化があるものではない。一方で、変化しづらいものの、固定的ではなく、自らの意識・行動で変えることが可能であり、農業研修はその変化を促す可能性が高いと考えTIPI-Jを実施した。

作業前と研修後を比較すると、「協調性」「情緒安定性」が上昇し、「開放性」が低下した(第2図)。統計的有意差は認められなかった。個人ごとにみると、「情緒安定性」「外向性」は11名中5名(45.5%)、他の特性は各4名(36.4%)が上昇した。「情緒安定性」のスコアが低い人のスコアを上昇させる傾向があり、作業前のスコアが高い人のスコアの上昇にはあまりつながっていなかった(第3図)。「協調性」

(注)23年度に実施された1回目の農業研修の内容や心理的な影響およびPOMS®2の詳細については尾中(2024)を参照。

第3図 「情緒安定性」のスコア分布



資料 筆者作成

「開放性」にも同様の傾向がみられた。

### 4 新入社員に与える影響

POMS®2の結果によると、農業研修は総じてネガティブな気分状態を低下させ、特に「緊張(不安)」の減少に顕著な効果を示した。ポジティブな気分状態である「活気」「友好」は、作業前から高かったため研修による影響を捉えにくいものの、研修後には「活気」の低下は大きかったが、「友好」の低下は小さく、平均より高い状態を維持した。このことから農業研修は「友好」(良好な対人関係)の維持・上昇に効果がある可能性が認められた。研修担当者からも農業研修を通じて、「新入社員同士の関係がより良くなった」「互いをフォローする関係ができた」「一緒にやっという雰囲気が醸成された」という感想があった。

TIPI-Jの結果によると、農業研修は「協調性」「情緒安定性」の上昇、特にスコアが低い人には効果があることが推察された。

#### 【謝辞】

本稿の作成にあたりまして、西部電気工業株式会社の研修担当および新入社員の皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。

#### <参考文献>

- ・尾中謙治(2024)「農業研修が新入社員に与える心理的な影響—西部電気工業(株)の新入社員研修を事例として—」『農林金融』7月号
- ・小塩真司・阿部晋吾・カトローニ ピノ(2012)「日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) 作成の試み」『パーソナリティ研究』第21巻第1号
- ・子安増生・丹野義彦・箱田裕司 監修(2021)『有斐閣 現代心理学辞典』有斐閣

(おなか けんじ)